

大飯発電所3，4号機 海水淡水化装置からの海水の漏えいについて

平成24年8月14日10時50分頃、大飯発電所3、4号機の屋外において、点検中の作業員が、海水淡水化装置※の海水供給ラインから海水が漏えい（蛇口4本程度）していることを確認しました。

同日、11時45分、当該の海水淡水化装置を停止したことにより、漏えい量は小指の太さ程度まで減少しました。

漏えいした水は海水であり、放射性物質は含まれていません。漏えいした水は、排水ピットに流れ込み、排水ポンプにより排出されています。

また、大飯発電所内への淡水の供給は、他の海水淡水化装置により問題なく行われています。

本件は、平成24年8月13日、排水ピットの水位が上昇したことを示す警報が発生しており、当初、降雨によるものと考えていましたが、その後、現場確認を行ったところ、配管をつなぐベローズ（ステンレス製伸縮継手）から海水の漏えいが確認されたものです。

大飯3、4号機の運転に影響はありません。

※ 大飯発電所では、海水を同装置により淡水にして、各機器や生活用水として使用している。

（平成24年8月14日お知らせ済）

漏えいが発生したベローズを取り外し、外観点検を実施した結果、ベローズの外側4箇所に通孔部が確認されました。また、ベローズの内面を観察した結果、堆積物が見られたことから、長年の使用に伴い、堆積物が蓄積したことにより腐食が進行し減肉した結果、漏えいに至ったものと推定しました。

当該のベローズを短管に取り替え、通水を行い漏えいのないことを確認し、海水淡水化装置を復旧しました。また、漏えい箇所と同じ海水供給ラインにある他のベローズの外観点検も併せて実施し、異常のないことを確認しました。なお、当該部はゴムタイプの伸縮継手に取替える予定です。

以上